

読書バリアフリーと 図書館の役割

～誰もが読める環境づくり～

障害の有無にかかわらず、
誰もが読書を楽しめる社会にするためには、どのようなことが必要でしょうか。
公共図書館、学校図書館で読書バリアフリーに向けた実践を行っている図書館員や
障害のある図書館利用者を迎え、今後の図書館などの障害者サービスの充実に向けて、
ご自身の読書体験をふまえて語っていただきます。
読書バリアフリー法が施行された今、開かれた読書環境について
一緒に考えてみませんか。
ご関心のある方は、どなたでも参加できます。
ぜひ、お申込みください。

日時 2021年2月13日(土) 13:30～16:00(12:30開場予定)

場所 練馬区立区民・産業プラザ(ココネリ3F)
東京都練馬区練馬 1-17-1 西武池袋線・有楽町線および都営大江戸線「練馬駅」中央北口 徒歩1分

後日
インターネット
公開あり

定員 先着200名(会場定員500人 感染症防止対策として「3密」を回避) **参加費** 無料

プログラム

主催者挨拶

肥田 美代子 公益財団法人 文字・活字文化推進機構 理事長

講演

〔行政説明〕

読書バリアフリー法に関する国の動向
横井 理夫さん 文部科学省 地域学習推進課長

〔基調講演〕

めざそう!みんなに開かれた読書環境を
アブディン モハメドさん

シンポジウム

ひろげよう、障害者の読書環境づくり

パネリスト

神山 忠さん 坂本 康久さん 野口 由紀子さん

コーディネーター

宇野 和博さん

同時開催

バリアフリー図書の展示コーナー 12:00～(予定)

主催／公益財団法人 文字・活字文化推進機構

後援／活字文化議員連盟、学校図書館議員連盟、(公社)日本図書館協会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本新聞協会、(一社)日本書籍出版協会、日本児童図書出版協会
(特非)DPI日本会議、(福)全国盲ろう者協会、日本弱視者ネットワーク 協力／読書工房 ほか

【出演者のご紹介】

【行政説明】

読書バリアフリー法に関する国の動向

横井 理夫さん

文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課長

【基調講演】

めざそう!みんなに開かれた読書環境を

アブディン モハメドさん 参天製薬株式会社 企画本部 CSR 室 グローバル インクルージョン戦略企画担当

1978年、スーダンの首都ハルツーム生まれ。生まれた時から弱視で、12歳のときに視力を失う。19歳のときに来日、福岡県立盲学校で点字や鍼灸を学ぶ。東京外国語大学特任助教、学習院大学特別客員教授を経て、参天製薬株式会社 企画本部CSR室 グローバル インクルージョン戦略企画担当、東洋大学国際共生社会研究センター客員研究員、NPO法人スーダン障害者教育支援の会 (CAPEDS) 代表理事、東京都多文化共生推進委員会委員。著書に『わが盲想』(ポプラ社)がある。

シンポジウム「ひろげよう、障害者の読書環境づくり」

ディスレクシア当事者の立場から

神山 忠さん 元・岐阜特別支援学校地域支援センター長

文字を読むことに困難がある読字障害・ディスレクシアをもち、学齢期には不登校や非行を経験。自衛隊に入隊し、文字で学ぶのではなく口頭と実物操作で学ぶスタイルに出会う。訓練を終えて夜間の短大に通い、教員免許を取得し教員として32年間勤務。現在は、小学校の用務員として安心・安全な教育環境の整備に努めながら、ライフワークとして誰もが取り残されない社会に向けて相談活動、講演活動、制度設計等に取り組んでいる。

学校図書館の実践について

野口 由紀子さん 市川市立南行徳中学校教諭・特別支援教育コーディネーター

宮城教育大学特殊教育特別専攻科言語障害児教育専攻修了。就学前から中学校まで、さまざまな特別支援の世界を渡り歩き、福祉と教育の双方の立場からの連携についての造詣が深い。市川市立須和田の丘支援学校では、公共図書館と学校をむすぶネットワークシステムを活用し、児童生徒の実態に合わせた図書館活動を行った。現在は一般校で特別支援学級担任をしている。

公共図書館&点字図書館の立場から

坂本 康久さん オーテピア高知声と点字の図書館 館長

高知市役所職員。2011年4月から高知市立高知点字図書館長。2018年7月、「オーテピア高知声と点字の図書館」としてリニューアルオープン。声と点字の図書館では「すべての人を本の世界へ」をキャッチフレーズに、県内の障害、高齢、病気など様々な理由で読書が困難な人を対象にサービスを展開。読書バリアフリー法の施行にともない、現在、県内の公立図書館、福祉・医療機関等との連携・協力による「読書が困難な人が手軽にバリアフリー図書を利用できるしくみ」を模索中。

コーディネーター

宇野 和博さん 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

東京学芸大学教育学部卒業後、東京都中学校教諭を経て現職。日本弱視者ネットワークの教育担当役員として、弱視者のための教育環境の改善に関する活動を展開。拡大教科書の普及にも取り組み、著作権法改正や、教科書バリアフリー法の制定に尽力する。その後、障害者の読書環境を整備するためのマラケシュ条約批准や読書バリアフリー法制定など、長年、障害者の読書環境の整備に尽力してきた。NHKラジオ「視覚障害ナビ・ラジオ」レギュラーコメンテーターも務める。

バリアフリー図書の

展示コーナー

12:00～(予定)

視覚・聴覚・触覚など、それぞれの感覚を使って楽しめるもの、わかりやすいもの、デジタルで作られているものなど、障害の有無にかかわらず読みやすいように工夫された図書を展示します。ぜひ、この機会に実物をご覧ください。



申込方法

以下の必要項目を明記の上、WEBフォーム、FAX、郵送のいずれかで「読書バリアフリー事業事務局」までお送りください。

- ①名前(以下、参加者全員分) ②職業(ご所属などあれば差し支えない程度にご記入ください)
③電話番号・FAX番号 ④ご住所(来場申込の方へ参加通知をお送りします)
⑤参加方法のご希望(当日来場・後日インターネット公開)※両方選択可 ⑥出演者への質問(あればご記入ください)

●WEBフォーム… <http://www.mojikatsuji.or.jp/news/2020/12/03/4464>

●メール…………… office@mojikatsuji.or.jp

●FAX…………… 03-5211-7285

●郵送先…………… 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-30 文字・活字文化推進機構内「読書バリアフリー事業事務局」



※情報保障は、要約筆記とインターネット公開(後日)を予定しております。その他にも情報保障のご希望がありましたら、事前にご相談ください。また、介助者の有無や車いすでご来場の方も申込時にお知らせください。

▶来場受付は定員に達し次第、締め切ります。開催の1週間前までにメールおよび郵送にて参加通知をお送りいたします。いただいた個人情報は、本事業に関するお知らせのみ使用いたします。やむを得ず開催を中止する場合や、プログラムを変更する場合は、ホームページ等でご案内します。本事業で撮影した写真や映像については、主催者の広報等の目的で使用する場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- ◆ご来場の際に、検温・手指の消毒をさせていただきます。37.5度以上の発熱・咳やご体調のすぐれない方はご来場をお控えください。ご来場時のマスク着用及び咳エチケットにご協力をお願いします。
- ◆座席は「3密」防止の観点から定員の4割となる200名を上限とし、ソーシャルディスタンスを保ちます。また、国、東京都の感染症対策方針の動向を注視し、開催内容は変更になることがございます。

《お問い合わせ》文字・活字文化推進機構内「読書バリアフリー事業事務局」〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-30

HP: <http://www.mojikatsuji.or.jp/> TEL: 03-3511-7305 FAX: 03-5211-7285 MAIL: office@mojikatsuji.or.jp